

佐賀市スマートシティ推進方針

概要

- 1 方針策定の背景
- 2 方針の目的
- 3 方針の対象期間
- 4 方針の体系図
- 5 佐賀市版スマートシティの体系図
- 6 施策の方向性・分野
- 7 実現に向けたロードマップ

1 方針策定の背景

【佐賀市スマートシティ宣言】

佐賀市スマートシティ宣言

佐賀市は、令和4年3月に「佐賀市DX推進方針」を策定し、デジタルを活用したまちづくりを推進しています。

住民・地域・企業・行政が一体となって、佐賀市版DXをさらに強力に推進し、地域経済の活性化を図り、暮らしや生活がより便利に、より快適に、そして生活に合わせた多様で柔軟な働き方ができるような『スマート・ローカル！ SAGACITY』の実現に取り組んでいくことを宣言します。

令和4年7月26日

佐賀市長 坂井英隆

【国が示すスマートシティの定義と目的】

【スマートシティの目的】

地域幸福度(Well-Being)の向上

【スマートシティの効果】

- ①安全で質の高い市民生活・都市活動の実現(社会)
- ②持続的かつ創造的な都市経営・都市経済の実現(経済)
- ③環境負荷の低い都市・地域の実現(環境)

一人ひとりに寄り添ったサービスを提供

【スマートシティの定義】

スマートシティ

- 【手段】 新技術や官民各種データを活用した市民一人ひとりに寄り添ったサービスの提供や、各種分野におけるマネジメントの高度化等により、
- 【動作】 都市や地域が抱える諸課題の解決を図り、また新たな価値を創造し続ける、
- 【状態】 持続可能な都市や地域であり、Society5.0の先行的な実現の場

3つの基本理念

利用者中心主義

ビジョン・課題フォーカス

分野間・都市間連携の重視

5つの基本原則

公平性・包摂性の確保

プライバシーの確保

相互運用性・オープン性・透明性の確保

セキュリティ・レジリエンスの確保

運営面、資金面での持続可能性の確保

スマートシティ実現のための重点分野と重点取組

デジタルが充実している
田舎に住むこと
いま、いちばん“かしこい”
住スタイル



英単語の“sagacity”には、“聡明・かしこい”の意味があります。

市民サービスDX

- ◎パソコン・スマホでオンライン申請
- ◎佐賀市公式スーパーアプリの構築



防災DX

- ◎災害・防災情報のデジタル化
- ◎ドローン・スマホを活用した災害復旧



子育て・教育DX

- ◎子育て情報・教育現場のデジタル化・オンライン化
- ◎位置情報システム等を活用した見守り



産業DX

- ◎ICTを活用した経済DX
- ◎AI・IoT等を活用したスマート農林水産業



2 方針の目的

目指す将来像『スマート・ローカル!SAGACITY』

最新技術を効果的に日常に取り込み、社会が人に合わせる仕組みを創り出し、誰もが「幸せである」と実感できるまち

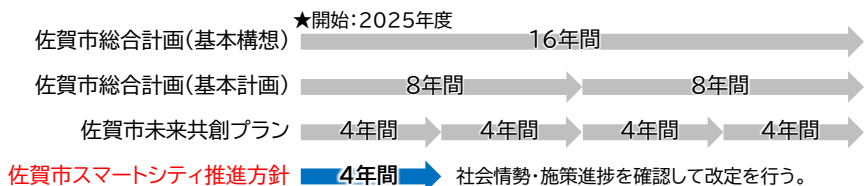
- 最新技術の活用によって、地域課題の解決を図り、社会の仕組みやルールが人の行動に合わせてすることで、便利で快適な生活や多様で柔軟な働き方を創出します。
- 地元企業へのDX支援により生産効率を上げること、佐賀市の魅力を効果的に発信し関係人口を創出することで、地域経済の進展を図ります。

➡ 佐賀市全体の地域幸福度 (Well-Being)を向上

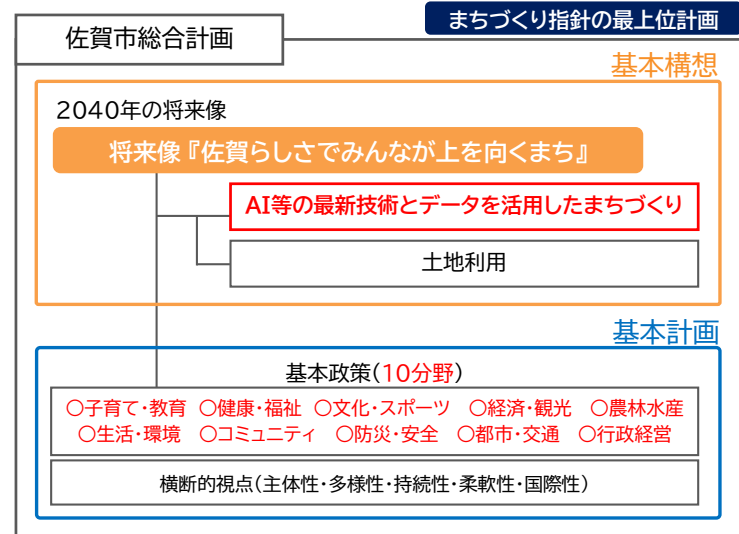


地域課題を自ら解決できる土壌と風土を育て、年齢・性別・職種・国籍に関係なくチャレンジでき、安全・安心で安定した日常生活を送れる未来を目指します。

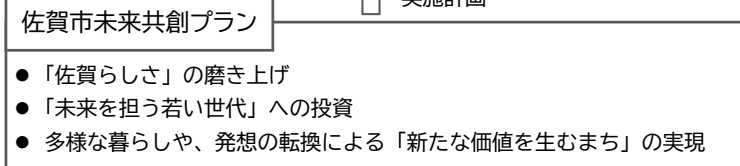
3 方針の対象期間



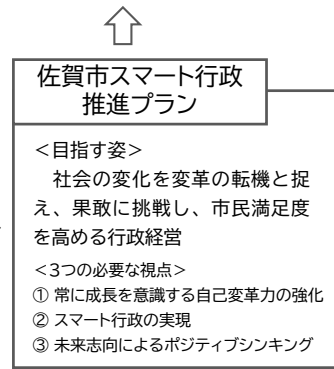
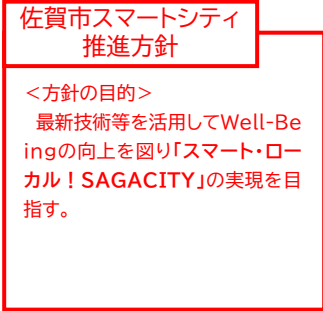
4 方針の体系図



↑ 実施計画



↑ 基本政策の各分野のデジタル・DX関連に焦点



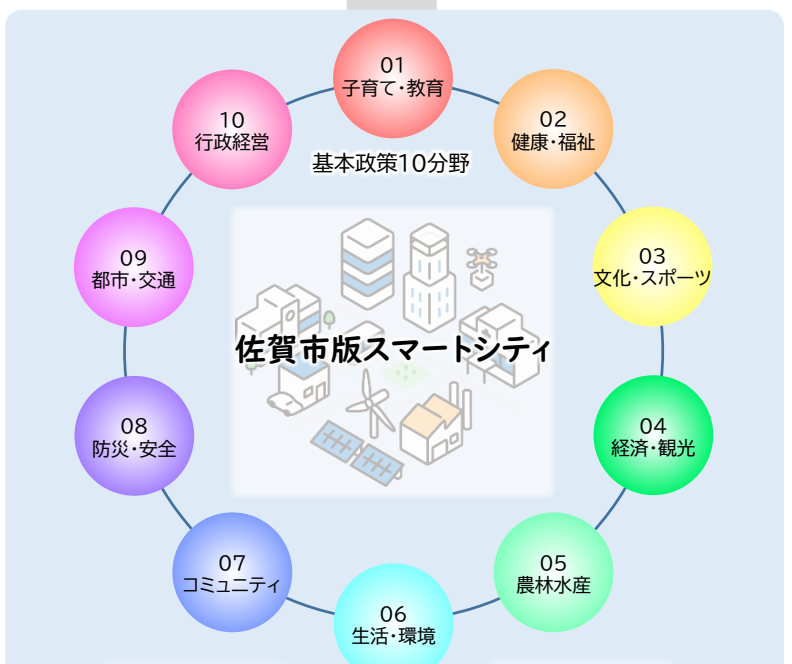
5 佐賀市版スマートシティの体系図



スマート・ローカル!SAGACITY

地域経済の好循環 便利で快適な生活 多様で柔軟な働き方

一人ひとりに寄り添ったデジタルサービスを提供



3つの基本理念

- 人中心のサービスを展開する
- 真の地域課題を解決する
- データを最大限に利活用する

7つの基本原則

- 公平性・包摂性
- セキュリティ対策
- 相互運用性
- 持続可能性
- 官民共創
- 最新技術の活用
- 広域的な連携

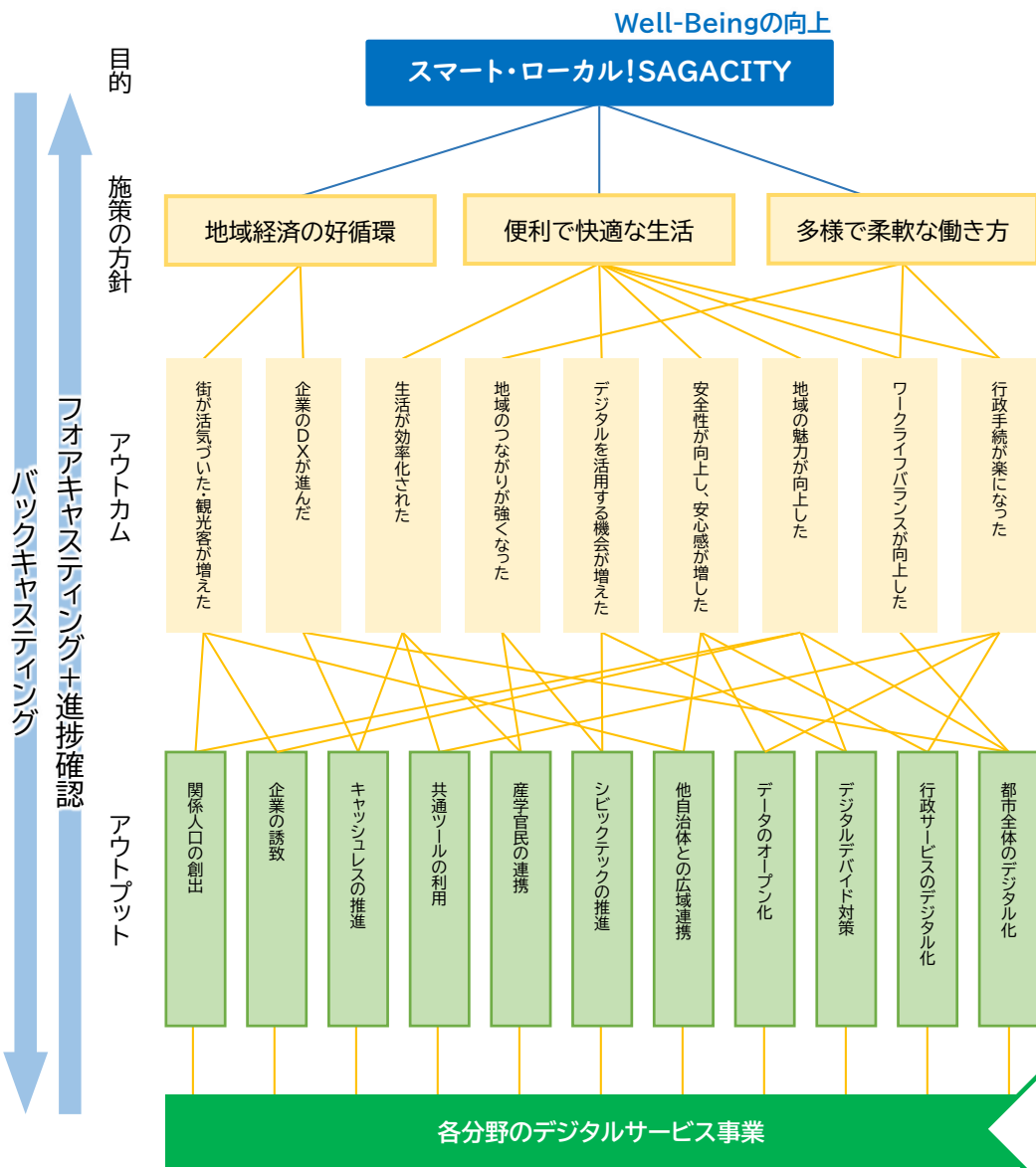
3つの基本理念

- 人中心のサービスを展開する**
 - ・ 人が仕組みに合わせるのではなく、人の行動に合わせた仕組みをつくります。
 - ・ 直感的にわかりやすいサービスをデザインします。
- 真の地域課題を解決する**
 - ・ 行政シーズではなく、市民ニーズに対応した地域課題の解決を図ります。
 - ・ 地域の課題解決力を高めるために、地域の共助活動の活性化を促します。
- データを最大限に利活用する**
 - ・ 経験や勘に頼った予測は行わず、EBPMを行うことで確度が高い施策を実施します。
 - ・ 相互利用性が高いデータの整備を進めます。

7つの基本原則

- 公平性・包摂性** デジタルデバインド対策により、誰一人取り残されない社会にします。
- セキュリティ対策** 個人情報やプライバシーの漏洩・侵害の対策を実施します。
- 相互運用性** 複数のシステム間で連携が取れる仕組みをつくります。
- 持続可能性** 省力化・マネタイズなどにより持続可能な自治体運営を目指します。
- 官民共創** 地域課題の解決に行政だけでなく民間と力を合わせます。
- 最新技術の活用** 費用対効果を考慮しつつ、より効果的な仕組みを取り入れます。
- 広域的な連携** 他都市とも連携を図りながら、DX推進に取り組めます。

6 施策の方向性・分野



01 子育て・教育
 子育て世代が、時間の有効的な活用や円滑な情報共有ができる仕組み、手軽で気楽に相談できる仕組みをデジタルツールを活用して推進します。

02 健康・福祉
 生活行動をより良い方向へ促すために、医療系ビッグデータを活用した取組みを進めます。日常生活におけるヘルスケアについてもデジタルの力で見守りを進めます。

03 文化・スポーツ
 歴史に関する追体験や遠隔地からでも臨場感を体験できるサービス、スポーツを「する」「みる」「ささえる」をデジタルの力で後押しします。

04 経済・観光
 本市全体の生産性を上げるため、中小企業のDXを支援します。「暮らしたい」「訪れたい」「応援したい」と思われるまちづくりをデジタルの力で進めます。

05 農林水産
 IoTやAIなどの最新技術を駆使したスマート農林水産産業を推進し、作業の効率化・省力化による経費削減を図り、「スマートに稼げる農林水産産業」を目指します。

06 生活・環境
 IoT技術を活用により、都市インフラを最適化し、エネルギー効率を向上させます。移動手段のシェアリングやドローンの活用によりゼロカーボンシティを目指します。

07 コミュニティ
 シビックテックが活発になるような仕掛けや、年齢等に関係なくコミュニティの輪が広がるようなワークショップを開催します。

08 防災・安全
 非常時だけでなく日常からデジタルツールを使える仕組みをつくり、非常時に慌てることなく対処できるようなまちづくりを進めます。

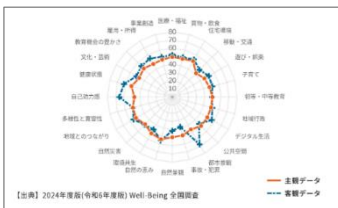
09 都市・交通
 人・モノの流れの可視化やデジタルマップを活用して都市計画の最適化を進めます。交通面では多様な移動ニーズに対応し、交通弱者を減らす取組みを進めます。

10 行政経営
 最新技術を活用し、常に改革・改善に取組み、業務効率化を進めながら、質の高い行政サービスを提供していきます。

7 実現に向けたロードマップ

地域幸福度 (Well-Being) の向上

- ・主観/客観で現状を把握
- ・施策の進捗具合の可視化



市民サービス向上 シビックテック

デジタルタッチポイント

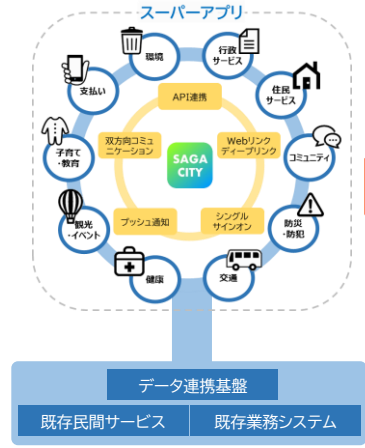
- ・双方向の情報共有
- ・多様性の推進、地域参画



佐賀市公式スーパーアプリ



スマート・ローカル!
SAGACITY



- 分野横断的なデジタルサービス
- データ連携基盤
- データ利活用**
- ・EBPM
- ・システム間連携

ポイント①

ポイント②

時間

DXのその先が『スマートシティ』

市民の利便性・幸福度
デジタルを活用したまちづくり

Why・DXの意義

「新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動」

自治体DX

AI活用

- ・市民サービス向上
- ・業務プロセスの最適化

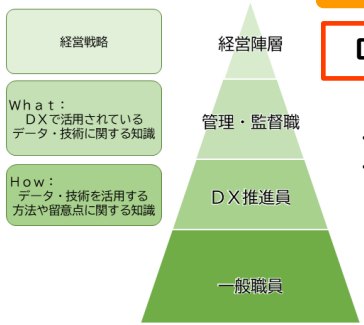


デジタル人材の育成

DX人材育成方針

2022年策定

- ・職員のデジタルリテラシー向上
- ・DXマインドの醸成



デジタルサービスの創出

DX・スマートシティの推進体制

- ・庁内: 市長をトップにDX推進
- ・庁外: プロからのアドバイス

地域DX

デジタルデバイド対策

- ・スマホ操作支援、スマホ教室
- ・UI/UXの向上

